

### 自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が自立し生活して行くことをホームの柱にしています。利用者の人間関係や地域での生活を継続することにより生活に意欲を持ち、介護される者として依存した生活でなく、自立した人間として自由に発言し、自分の意志で生活する事を大切にして行きたいと思います。個々の利用者が自分自身の生活を取り戻してゆける環境を創り出したい。	
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を全職員が共有し、理念を意識しながら利用者に関わりを持てるのかを月3回の勉強会、月1回のICFの勉強会を行いながら議論し、検証しています。その事が利用者のケアプランの中で実現しているのかを常に議論しています。	
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族の繋がりを途絶えることがないように利用者の生活の様子を伝えと共に、地域の中でも、ホームの理念や活動を、回覧板を利用して教宣し、イベント等にも参加して頂き、利用者も、ご近所におじゃましたり、散歩をしながら立ち話をしたり交流をしています。	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩中で合った人や近隣の方にお互い挨拶をしたり、畑で取れた物を差し入れしてくれたり、畑になっている物を自由に収穫させて頂いたり、草取りを手伝ったりしています。牛小屋の掃除をしたり、餌をやりに行くことを楽しみにしています。	
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の祭りには、神社にお参りに出掛けたり、獅子舞がホームに来てくれ入居者一人一人の頭をかんでいってくれたり、老人会の方々がホームに来てくれ、お茶を飲みながら一緒に話をしていたりしています。	

岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得  契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時点で、ホームの理念や活動、ケアの基本的考え方を充分話し合い、納得して頂き、入所後に起こりうるリスクもお話ししています。重度化した場合にはどうするのか、医療適応になったときにはどうするのかを事前に話し合いをしています。	
13	○運営に関する利用者意見の反映  利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者の不安や訴えを的確に把握し、即座に解決するようにしています。また、御家族にも連絡を取り相談させて頂いたりします。	
14	○家族等への報告  事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者の状況や様子、健康状態について担当者から月1度手紙で報告連絡しています。御家族がホームを訪問された際、報告すると共に、その都度、電話にて相談させてもらったり、連絡を緊密に取るようにしています。	
15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から出された意見、不安を充分聞き、勉強会やカンファレンスで討論すると共に、解決の方向を即座に御家族に報告することをしています。	
16	○運営に関する職員意見の反映  運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	勉強会やカンファレンス等で職員の意見を聞いたり、個別に話し合いをすると共に、運営については管理者がトップダウンすることなく、ケアマネ・介護責任者や担当者話し合いをして決めている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整  利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	介護責任者・担当者の意見を聞きながら、利用者の状況を分析し、夜勤者の増員や、勤務時間の変更を行いながら利用者にとって最良の方法を検討しながら調整しています。	

岐阜県. NPOグループホーム すずらんの木 (2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者にとって馴染みの職員による介護が利用者にとって必要なことと思います。職員の移動を少なくしなければならないと思います。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	多くのグループホームの1日実習や資格取得のための研修会や、グループホーム全国大会、県の研修会に参加して、スキルアップを図ると共に安定した介護観を身につけると共に、ホーム全体のレベルアップを図っていききたい。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	飛騨地区グループホーム連絡協議会を開催しており、その中でグループホーム間の職員交流を図っています。また、ケアマネ交流会を2ヶ月に1度開催し、地区全体のレベルアップを図って行くことを考えています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の健康に留意し、年2回の健康診断を行うと共に、ストレスに配慮し、休息の時間、勤務時間を考慮しています。人間関係にも配慮しながら、話し合いをきめ細かに実施しています。		
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員のレベルアップを考え、各種研修や、資格取得を奨励すると共に、参加のための条件作り（勤務時間の調整）や、賃金保障もしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居希望の方の生活環境を知ることの意味合いからも、入居前に、事前に家庭訪問し、本人の希望を聞いたり、家族の状態や希望を聞き受入をしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の意向を事前に聞き、特に気を配っていること、注意しなければならないことを伺い、安心して入居できるように準備をしています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の思いを聞いたり、必要としている支援を判断し、家族と相談しながら担当ケアマネと連絡を密にし、入居待機の期間、他の事業所のサービスを検討しています。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には本人・家族にホームに来て頂き居室やホームの雰囲気を感じて頂いたり、ディサービスを利用して頂いたりしながら自然な形で入居できるよう努力しています。	
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の話を聞きながら、食事作りの時も職員が一方的に献立を考えるのではなく利用者が献立を考えたり、畑仕事も利用者に植える物を決めてもらい、苗を買ってきてもらう等する中で利用者の方々と仕事をやり遂げた喜びや、収穫の喜びを分かち合えるようにしています。	

岐阜県. NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の来訪時にケアプランや最近の様子など伝え、情報交換を行い、信頼関係を築けるよう努めています。より良い生活が送れるよう話し合い、必要に応じてご協力頂いています。また、イベントに参加していただき、共に過ごす時間を大切にしています。	○	一時帰宅、家族との外出、外泊がしてもらえるようにご家族に働きかけていきたいです。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人とご家族との関係を把握し、必要な時には間に入るようにしています。入居したことでご家族と距離ができないよう、面会や食事会、イベントなどを通じ、取り組んでいます。職員は裏方に回り、家族のふれあいを大切に出来るよう配慮しています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者それぞれの馴染みの美容院、商店街、家、集会等、個別で訪問し、利用者の思いを大切にしています。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	耳の遠い利用者には補聴器代わりになって、関わりが持てるようにしています。職員は、利用者同士と一緒に何かをしたり、話をするきっかけとなるパイプ役になるよう努めています。		
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も必要であればご家族の相談に乗るようにしています。すずらの木の新聞を送り、関係が絶たれないよう心がけています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	可能であれば、本人と話し合いをもつ他に日々の関わりや会話の中から本人の希望をくみ取り、その情報を職員全員で共有しケアプランに盛り込めるよう努めています。困難な利用者には、普段の生活の中で好きなこと、役割意識がもてそうな場面がないかよく観察し、本人目線で検討しています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族の話はもちろん、ご家族にセンター方式にご記入いただき、生活暦等把握しています。親類や友人の訪問時の話や本人との会話からも把握に努めています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護経過記録に細かく記入する事で、入所後できるだけ早く利用者の現状を把握出来るようにしています。心身状態は、利用者の表情や言動からも察するよう努めています。職員が自分の目線だけで把握するのではなく、他スタッフからも意見をよく聞き、評価しケアプランに活かしています。	
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人やご家族との話の中で意向を把握し、担当者がアセスメントをして、ケアマネ、スタッフと話し合いを行っています。本人の思い、意見を最も大切にし、カンファレンスや勉強会などで、職員全体で意見交換をし、本人にとって最も良い介護計画となるよう努めています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	体調の著しい変化など、現在のプランでは対応できなくなった時もプランの見直しや変更を行い、ケアマネと相談し、ご家族に伝え、柔軟に対処しています。	

岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者の細かな変化を口頭や記録で伝えるようにして、カンファレンスや介護計画の見直し等にも活かしています。休み明けの職員も把握できるようにしています。	○	職員全員が記録に関わっていないためか、情報の共有という面で不足しているように思います。全体で意識して取り組んでいきたいです。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院の付添や送迎のほか、喫茶店の利用など本人とご家族の希望に合わせて行っています。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	傾聴ボランティアの来訪があったり、太鼓グループの演奏会を行ったり、中学や高校の職場体験の場にもなっています。小学校の運動会見学にも毎年行き、交流を大切にしています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	グループホームでは他のサービス利用がないため、そういったことはありませんが、デイサービス利用の方については地域のケアマネと相談しながらの支援を行っています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところ、特に協働はありませんが、必要に応じて協働していきたいと考えています。		



岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>		
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		

岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>49</p> <p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>ケア関係者とご家族のサポートで、本人のストレスが軽減されるよう、密に情報交換をおこなっています。情報を伝える中で、ダメージに繋がりそうなことは、出来るだけ詳しく伝えるよう留意しています。</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p>			
<p><b>1. その人らしい暮らしの支援</b></p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50</p> <p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>利用者の立場に立って言葉かけ等行っているが、利用者からすれば、足りない所もあると思います。職場全体が意識的に取り組んでおり、日々の関わりの中で職員同士声をかけあったり、勉強会での話し合いを続けています。記録等は指定場所に保管し、利用者等の目に触れないよう注意しています。</p>		
<p>51</p> <p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>生活の中で出来るだけ利用者自身で考えて行動していただけるよう、見守ったり、ヒントになるような働きかけをし、スタッフは黒子に徹するよう努めています。</p>		
<p>52</p> <p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>できるだけ入居者のペースで過ごしていただくよう意識しているが、入浴日、掃除日などに、外出の希望があると、「午後から」「明日で」と断ることもあり、その日の勤務者の人数でどう対応していくか、今後も考え、チームワークを大切にしたいです。また、全体的に生活の固定化をしていないか、振り返りたいと思います。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53</p> <p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>利用者の希望に沿って、理容室・美容院への外出支援を行っています。外出困難な利用者については、美容院の方に出張して来て頂いています。介助の必要な方に対し、よりきめ細やかなケアに努めたいです。</p>		

岐阜県. NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の献立は利用者と相談しながら決め、調理、盛り付け、片付けも共に行い、楽しみながら一緒に食事できるようにしています。一部の利用者に準備・片付けが偏りが見られます。いつもやってみえる方には、疲れてしまう前に休憩をとってもらう、他の利用者にも声をかける等工夫しています。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	職員は利用者の健康状態に気を付けながら、利用者に自由に買い物をしてもらい、それぞれの生活、好みに合わせて楽しんで頂いています。一人ひとりの好みを職員は把握しており、買い物にいけない方などには、こちらで準備しています。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使用し、時間を見計らって誘導し、トイレで排泄できるようにしています。排便についても気をつけてみています。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	3日に一度の入浴日は設けてあるが、利用者の希望や必要性により、毎日、昼夜関係なく入浴をして頂いています。入浴の声かけ時、本人のタイミングでない時は、後ほど声かけするようにし、職員の都合は絶対に優先しないようにしています。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努めています。また、体調に合わせて休息してもらうよう支援しています。夜勤者から昨夜の様子を聞き、体調、表情や言動などに応じて日中休んでいただいています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑仕事、台所仕事、洗濯干しなど、それぞれ得意分野で楽しみながら出来るように働きかけるようにしています。その時に感謝の言葉を掛けるようにしています。利用者一人ひとりに合わせ、カラオケ、喫茶店に外出、ドライブ、買い物など、気晴らし、楽しみを持てるようにしています。		

岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	財布の管理を自分で出来る方にはしてもらい、出来ない方には金庫で預かることを習慣化し、外出時など、必要な時にお渡しするようにしています。買い物、診療費等自分で支払っていらっしゃいます。		
61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の希望や、その日の様子を見て、散歩や買い物、時には喫茶店にも出かけています。居室にこもりがちな方には、買い物に積極的に促したりし、外に出ることの大切さを伝えています。		
62	○普段行けない場所への外出支援  一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	可能な限り支援しているが、自宅の様子を見たいなどの希望があれば、ご家族にもご協力頂き、行けるように支援しています。毎年、ご家族もご参加いただいて、温泉・昼食を楽しむ行事を開催し、共に出かける機会を作っています。		
63	○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の要望があれば、その方のレベルに合わせて電話が通じてから代わってもらったり、使い方を伝えるなどしています。また、葉書や切手を買って置きし、必要時にはお渡ししています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援  家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問時間を定めず、いつでも訪ねてきて頂いています。利用者や馴染みの人たちに、お茶を出したり、居室に案内したりし、安心してゆっくり話せるよう環境を整えています。訪問者と顔なじみになれるよう、積極的に声をかけ近況を伝えるようにしています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践  運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が意識しており、ベッドの柵なども必要な入居者以外ではできるだけ外しています。転倒の危険性がある利用者が多動な時も、見守りを徹底し、転倒などの危険性を予測しています。		

岐阜県. NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	対応策を定期的に勉強会で学んでいきたいです。
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

岐阜県. NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い  一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	利用者の状態、体調面での変化から、職員と事務局で相談し、できるだけ利用者にあった関わりを心がけ、ご家族にも事前にリスクを伝え、対応策を話し合っています。		
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>				
73	○体調変化の早期発見と対応  一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタルチェックや利用者の様子（顔色、食欲、言動など）から早めに発見できるようにしています。速やかに他の職員に伝え、情報を共有しています。		
74	○服薬支援  職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を見ながら、種類や数、用法用量等チェックし副作用などについても理解に努めています。服薬時は、本人に手渡し、特に名前を確認して確実に服用できているか確認しています。		
75	○便秘の予防と対応  職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分補給をきちんとし、食事には繊維質の多い食材、乳製品など採り入れています。また、散歩などの運動を促しています。排便チェック表で状況を把握し、便秘が続くときは下剤、浣腸なども使用しています。		
76	○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後はしていないが、朝と就寝前は口腔ケアや義歯洗浄を促し、必要であれば介助し清潔を心がけています。入居者のレベルに合わせ見守りし、できるだけご自分でやって頂いています。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考えた献立を考えています。毎食後、一人ひとりの食事、水分の摂取量をチェックしています。食事量の少ない方には、カロリー補給のため補食を摂って頂いています。夏場は特に、水分補給を心がけています。		

岐阜県. NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防  感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に関する勉強や対策を勉強会で学んでいます。マニュアルを作成して、予防を徹底しています。また、手洗い方法など利用者にも実行して頂いています。ノロウイルス流行の際には、ペーパータオルの使用、消毒の徹底を行い、現在も継続して行っています。		
79 ○食材の管理  食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎晩、まな板、ふきん、スポンジ、台拭きの消毒を行っています。たえず、冷蔵庫の衛生管理、食品管理をしています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b> <b>(1)居心地のよい環境づくり</b>			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫  利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関前にはベンチを置き、自由に座れるようにしたり、植物を置き、親しみやすい雰囲気になっています。利用者が仕事として植物に水をやったり、玄関の掃除などもして頂いています。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔を心がけ、落ち着ける場となるよう四季折々の植物を飾ったりしています。リビングや和室にも、季節に合わせこたつを入れたり、飾り付けを楽しんでいます。テレビの音量、扇風機などの風で不快に感じる方がみえれば、調整するようにしています。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	2階のソファでは、一人でお昼寝したり休憩したり、何人かでおしゃべりするなど利用されています。2階のリビングでも横になって休息したり、テレビを見るスペースがあり、一人で過ごしたり、仲の良い利用者同士で楽しんでみえます。		

岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )



V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

岐阜県 NPOグループホーム すずらの木 (2階)

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

私たちのグループホームの理念である『尊厳を守ること』をいつも大切に考えています。長い人生の中で、たくさんの苦勞を乗り越え生きてこられた利用者が、認知症という病気や年を重ねることにより家での生活が困難になり、ここに入所されました。グループホームでの生活も今までの暮らしの継続であるよう、施設や職員に保護された生活ではなく、自分で考え、自分のしたいことを自分で行っていく達成感、生きる喜びを感じながら生活していただきたいと考えています。また、ご自分の思いを口にされない方や、認知度が進んでいる方々のニーズをどうとらえ、生かしていくかが課題だと考えています。職員は、介護のプロとしての視点を持ち、どうすれば利用者の生活がよりよいものになっていくのかを勉強しています。職員の間人性はもとより、専門性をより高め、質の高いサービスが提供出来るように、職員全体でICFの視点について学び、アセスメント能力の向上、いくつもの視点から物事をより細かく分析できるよう勉強し、実践に活かせるよう取り組んでいます。